

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	9月	4日	(記入者) 鈴木康信	
取材参加者	秋山	大谷	河添	神野	鈴木
	仲	灰藤	東辻		
取材対象先	平群町：杵築神社の聖観音座像				

所在地	生駒郡平群町福貴畑1396番地				
所有者(取材 対応者)名	杵築神社(神社総代***氏) (個人情報守秘)		連絡先 ***		
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：平群町 教育委員会				
市町村 指定文化財	彫刻	1躯	聖観音座像 1980(昭和55)年3月28日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	宿院仏師の最盛期の作と考えられ、平群町の指定文化財となった。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	観音堂、本殿、拝殿に火災・侵入感知器を設置。 社務所に受信機を設置。 外部に消火器を設置。	特になし。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	境内には、イノシシ等侵入するが堂内には入っていない模様。	特になし。
保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策	透垣の取り替えを行っている。予算の中で、維持管理している。 観音堂は昭和50年代に建て替えられた。本尊の聖観音座像が安置されている場所の枿材は旧来の材を再利用している。 常什物として大般若経転読時に掛けられる「十六善神画像」など貴重なものが伝わる。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

県指定の「木造深沙大将立像」と、町指定の聖観音座像が並んで祀られている。境内などきれいに清掃されており、集落の方々の信仰の深さを感じられる。杵築神社の建つ富貴畑地区は標高400m程度の山がちの土地で、菊の栽培などを生業とする農家が多い。しかし、近年では農業を受け継ぐ若者が減って、平群の町まで働きに出る人が多くなり、秋と正月に行っていた祭礼も、現在はできなくなったようである。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	9月	4日	(記入者) 鈴木康信	
取材参加者	秋山	大谷	河添	神野	鈴木
	仲	灰藤	東辻		
取材対象先	平群町：杵築神社の聖観音座像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 聖観音座像

文化財 (正面写真)	文化財 (角度を変えて、写真)
	 <p>この文化財を囲う枠は、建て替え以前の古材利用と伝わる。</p>
杵築神社観音堂	割拝殿に懸かる絵馬
	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入
<p>木彫、檜材の寄木造り。差首、内割り。像高93.4cm、膝張67.7cm。 後頭部内面に「空阿 天文十七年甲戌八月十八日(1548) 宿院仏師 源次」の墨書銘文がある。空阿と源次は、実は同一の人物で、開眼導師としての空阿と仏師名としての源次を使い分けていたと考えられている。</p>	<p>生駒と信貴山の間にある十三峠越えの道の途中にある。福貴畑の氏神。宝永（1704～1711年）の寺社御改帳に「牛頭天王社」とある。観音堂は西庄にあった薬師院の別院で南東600m付近に勢力があり、江戸初期まで存在した白石千坊(詳細不明)の名残りだと言われている。「当社創建は、寿永三年辰四月卯の日（1178年）と記録に有る。現神社は昭和三十五年大和川改修により当地に移転、御本殿は、文化年間に春日大社若宮旧本殿を拝領の物である。境内に推古式古代人造の石塔が現存、きわめて古風で平安時代の造立説がある。</p>